



平成27年12月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

平成27年11月13日

上場会社名 株式会社ネクソン

上場取引所 東

コード番号 3659 URL <http://www.nexon.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) オーウェン・マホニー

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役最高財務責任者 (氏名) 植村 士朗 TEL 03-3523-7910

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成27年12月期第3四半期の連結業績（平成27年1月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	144,447	11.1	51,975	12.4	60,737	24.4	51,211	50.0	50,733	50.0	28,689	35.8
26年12月期第3四半期	129,998	7.6	46,257	△8.2	48,819	△3.6	34,152	△1.9	33,814	△2.2	21,132	△67.7

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第3四半期	117.87	114.95
26年12月期第3四半期	77.55	76.35

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
27年12月期第3四半期	432,241	366,268	361,165	83.6
26年12月期	437,022	345,477	340,380	77.9

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	-	5.00	-	5.00	10.00
27年12月期	-	5.00	-	-	-
27年12月期（予想）	-	-	-	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想（平成27年1月1日～平成27年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	184,508	6.7	61,666	35.5	70,090	33.1	59,029	100.6	58,528	99.6	135.78
	～	～	～	～	～	～	～	～	～	～	～
	187,312	8.3	63,805	40.2	72,229	37.1	60,804	106.7	60,261	105.6	139.79

特定の数値による予想が困難であるためレンジ形式での開示を行っております。詳細は、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年12月期3Q	433,150,117株	26年12月期	431,256,017株
② 期末自己株式数	27年12月期3Q	－株	26年12月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年12月期3Q	430,406,297株	26年12月期3Q	436,011,567株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断できる一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更	5
3. 要約四半期連結財務諸表	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書	8
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	10
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	12
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
(6) 継続企業の前提に関する注記	14
(7) 親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記	14
(8) セグメント情報	14
(9) 後発事象	19

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、先進国を中心に緩やかな景気の回復がすすみました。米国では、雇用や所得環境の改善を背景に個人消費が堅調に推移しました。生産活動や輸出も緩やかに回復し、経済の拡大基調が続きました。欧州でも個人消費が改善し、国別では英国やドイツに加え、スペインやイタリアなども改善がすすんだことから、欧州全体で緩やかに景気が回復しました。一方、アジア経済は、中国では生産・輸出・消費など主要指標がいずれも低調で、成長率が減速しました。その他の国も、輸出依存度の高い国を中心に景気の減速がすすむ結果となりました。わが国経済も、企業収益は改善したものの輸出が振るわず、個人消費も横ばいが続くなど、景気回復の動きが一服する傾向がみられました。

このような状況の下、当社グループは、PCオンライン事業及びモバイル事業を展開し、ユーザーの皆様に楽しんでいただける高品質なゲームの開発、コンテンツの獲得、新規ゲームタイトルの配信に努めるとともに、既存ゲームタイトルのアップデートを推し進めてまいりました。具体的には、グループ内におけるゲーム開発力の強化、他社との共同開発を含めた事業提携、有力なゲーム開発会社の買収等による高品質な新規ゲームタイトルの配信、モバイル事業における開発力強化、既存ゲームタイトルの魅力的なコンテンツアップデートを実施するための事業基盤の更なる強化などに取り組んでまいりました。

当第3四半期連結会計期間におきましては、中国における主力のPCオンラインゲーム『アラド戦記』(Dungeon&Fighter)の売上収益が、9月に実施した国慶節の連休向けのコンテンツアップデートやアイテム販売がユーザーの好評を博したこと等により好調に推移しました。また、韓国におきましては、『EA SPORTS™ FIFA Online 3』(以下FIFA Online 3)及び『EA SPORTS™ FIFA Online 3 M』(以下FIFA Online 3 M)が4年に一度のFIFAワールドカップの強力な追い風を受けて大変好調であった前第3四半期との比較になることから、前年同期比の売上収益が減少した一方、『サドンアタック』(Sudden Attack)や『メイプルストーリー』(MapleStory)等の既存PCオンラインゲームが前年同期比で成長したこと、当第3四半期にリリースしたPCオンラインゲーム『メイプルストーリー2』(MapleStory2)等の新たな売上収益が加わったことにより好調に推移しました。さらには、欧米地域に加えて韓国、台湾、日本、香港、マカオでサービスを開始したモバイルゲーム『DomiNations』が売上収益に貢献したこと等により当第3四半期の売上収益は前年同期比で増加しました。

費用面では、主に『FIFA Online 3』及び『FIFA Online 3 M』の売上収益が前年同期比で減少したことに伴うロイヤリティ費用の減少等により、売上原価は前年同期比で減少しました。販売費及び一般管理費は、主に新規タイトルの配信開始に伴う広告宣伝費の増加等により、前年同期比で増加しました。また、為替相場の変動の影響により為替差益が減少した結果、金融収益は前年同期比で減少しました。法人所得税費用につきましては、韓国子会社のネオプル・インクが昨年末に韓国済州島に移転したことによる法人税の優遇措置に伴いネオプル・インクに係る法人所得税費用が減少したことから、前年同期比で減少しました。

上記の結果、当第3四半期連結累計期間の売上収益は144,447百万円(前年同期比11.1%増)、営業利益は51,975百万円(同12.4%増)、税引前四半期利益は60,737百万円(同24.4%増)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は50,733百万円(同50.0%増)となりました。

報告セグメントの当第3四半期連結累計期間の業績は、次のとおりであります。

① 日本

当第3四半期連結累計期間の売上収益は16,235百万円(前年同期比29.4%減)、セグメント損失は1,395百万円(前年同期は352百万円の損失)となりました。日本では、PCオンラインゲーム及びモバイルゲームともに減収となりました。

② 韓国

当第3四半期連結累計期間の売上収益は115,608百万円(前年同期比18.0%増)、セグメント利益は56,847百万円(同18.1%増)となりました。

当第3四半期連結会計期間は、韓国国内においては、主に『FIFA Online 3』及び『FIFA Online 3 M』が前年同期比で売上収益が減少した一方で、『サドンアタック』(Sudden Attack)や『メイプルストーリー』(MapleStory)等の既存PCオンラインゲームが前年同期比で成長したこと、当第3四半期にリリースしたPCオンラインゲーム『メイプルストーリー2』(MapleStory2)等の新たな売上収益が加わったことにより好調に推移しました。さらには、欧米地域に加えて韓国、台湾、日本、香港、マカオでサービスを開始したモバイルゲーム『DomiNations』が売上収益に貢献したこと等が業績に寄与しました。なお、韓国セグメントの売上収益には、子会社であるネクソン・코리아・コーポレーションの傘下にあるネオプル・インクの中国におけるライセンス供与に係るロイヤリティ収益が含まれます。また、当第3四半期は、中国における主力PCオンラインゲーム『アラド戦記』(Dungeon&Fighter)の9月に実施した国慶節の連休向けのコンテンツアップデートやアイテム販売がユーザーの好評を博したこと等により、ロイヤリティ収益が増加したため、好調に推移しました。

③ 中国

当第3四半期連結累計期間の売上収益は2,804百万円（前年同期比20.3%減）、セグメント利益は1,395百万円（同37.8%減）となりました。中国では、既存のPCオンラインゲームに係るコンサルティング収入が減少しました。

④ 北米

当第3四半期連結累計期間の売上収益は8,479百万円（前年同期比120.2%増）、セグメント損失は2,967百万円（前年同期は1,486百万円の損失）となりました。北米地域におきましては、主に第2四半期に欧米地域でサービスを開始したモバイルゲーム『DomiNations』の寄与により増収となりましたが、これに伴うマーケティング費用の増加により利益が減少しました。

⑤ その他

当第3四半期連結累計期間の売上収益は1,321百万円（前年同期比20.6%減）、セグメント損失は318百万円（前年同期は414百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末の総資産は432,241百万円であり、前連結会計年度末に比べて4,781百万円減少しております。主な要因は、当社が保有する上場有価証券等の公正価値評価に伴うその他の金融資産（非流動）の減少（前期末比6,392百万円減）、償却等による無形資産の減少（同7,590百万円減）、現金及び現金同等物の増加（同10,507百万円増）等であります。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債合計は65,973百万円であり、前連結会計年度末に比べて25,572百万円減少しております。主な要因は、返済による借入金の減少（前期末比8,226百万円減）、税金の支払等による未払法人所得税の減少（同8,602百万円減）、有価証券の評価差額等に係る繰延税金負債の減少（同2,260百万円減）等であります。

(資本)

当第3四半期会計期間末における資本の残高は366,268百万円であり、前連結会計年度末に比べて20,791百万円増加しました。主な要因は、四半期利益計上等に伴う利益剰余金の増加（前期末比46,382百万円増）、その他の包括利益で認識する有価証券の評価差額及び為替換算調整勘定の減少によるその他の資本の構成要素の減少（同21,909百万円減）等であります。

この結果、親会社所有者帰属持分比率は83.6%（前連結会計年度末は77.9%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ10,507百万円増加し、128,236百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は45,016百万円（前年同期は41,930百万円の収入）となりました。主な収入要因は、税引前四半期利益60,737百万円、減価償却費11,199百万円であり、主な支出要因は、法人所得税の支払額21,259百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は13,258百万円（前年同期は43,376百万円の支出）となりました。主な支出要因は、その他の預金の増加額8,649百万円、子会社の取得による支出2,155百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は16,263百万円（前年同期は26,147百万円の支出）となりました。主な支出要因は、長期借入金の返済による支出11,990百万円、自己株式の取得による支出10,169百万円及び配当金の支払額4,305百万円によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績見通しにつきましては、当社グループの主力事業であるPCオンラインゲーム及びモバイルゲーム市場は、成長速度を予測することが難しく、ユーザーの嗜好や人気タイトルの有無などの不確定要素に収益が大きく左右されます。したがって、通期の業績予想を算出することが困難であることから、株主と投資家の皆様により正確な情報を提供するため、翌四半期の業績予想をレンジ形式により開示させていただいております。なお、「平成27年12月期の連結業績予想」は平成27年12月期第3四半期連結累計期間の実績値に第4四半期連結会計期間の業績見通しを加算したものとなっております。平成27年12月期第4四半期連結会計期間の業績見通しについては、下表をご参照ください。

当社グループにおける平成27年12月期の連結業績の見通しは、売上収益184,508～187,312百万円（前期比6.7%～8.3%増）、営業利益61,666～63,805百万円（同35.5%～40.2%増）、税引前利益70,090～72,229百万円（同33.1%～37.1%増）、当期利益59,029～60,804百万円（同100.6%～106.7%増）、親会社の所有者に帰属する当期利益58,528～60,261百万円（同99.6%～105.6%増）、基本的1株当たり当期利益135.78～139.79円となっております。当社グループは、日本、韓国、中国、米国をはじめとして、世界中で事業を運営しており、取引における主要な為替レートは1ドル＝120.07円、100ウォン＝10.50円、1中国元＝18.91円と想定しています。一般に韓国ウォンの対円為替レートも中国人民元の対円為替レートも米国ドルの対円為替レートに連動して推移します。このような各国通貨の対円為替レートが連動して動くことを前提とし、為替レートの当社グループ業績への影響度に関して、当社が想定するドル円の為替レートに対して1円為替が変動した場合、第4四半期は売上収益が約300百万円、営業利益が約100百万円変動するものと当社では推定しております。

当第4四半期におけるPCオンライン事業の予想売上収益は30,189～31,871百万円、モバイル事業の予想売上収益は9,871～10,994百万円です。韓国及び中国において、夏季休暇や祝日などから季節的に強い第3四半期からの反動により、第4四半期は例年季節的に弱い時期となります。

当第4四半期のPCオンライン事業は、韓国では、10月に新規タイトル『AIMA』の配信を開始した他、『ツリーオブセイヴァー』及び『アルピエル』の配信を予定しております。また、中国においては主力PCタイトル『アラド戦記』(Dungeon&Fighter)に関し、高品質なコンテンツアップデートの実施を予定しております。複数の新規タイトルの配信を開始することから、これら新規タイトルからの売上収益寄与が見込まれるものの、当第4四半期のPCオンライン事業の売上収益は前年同期比で減少することを予想しています。これは当第4四半期の中国における『アラド戦記』の売上収益が、著しく好調であったアイテム販売により高水準となった前年同期との比較となるため、中国の売上収益について前年同期比で減少を見込んでいることが主な要因です。

当第4四半期のモバイル事業の売上収益は、既存のモバイルゲームに加えて、主に韓国、北米、欧州及びその他の地域における『DomiNations』や当第4四半期にリリース予定の複数のモバイルゲームが業績に寄与することにより、前年同期比で増加することを予想しています。このように、モバイル事業による売上収益が前年同期比で増加する一方で、PCオンライン事業の売上収益の減少がモバイル事業による売上収益の増加を上回ることが想定されるため、当第4四半期の売上収益は前年同期比で減少することを予想しています。

当第4四半期の費用面では、新作のPCオンラインゲーム及びモバイルゲームを複数リリースすることに伴う広告宣伝費の増加や外部IPタイトルからの売上収益が増加することに伴うロイヤリティ費用及びモバイル事業の成長に伴う支払手数料などの変動費の増加が見込まれる一方で、『アラド戦記』にかかるIP償却が完了したことにより減価償却費が大幅に減少することから、前年同期比で減少することを予想しております。

業績見通しについては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでいるため、実績値は業況の変化などにより予想数値と異なる可能性があります。

（参考）

平成27年12月期第4四半期の連結業績予想（平成27年10月1日～平成27年12月31日）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		基本的1株当たり四半期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第4四半期	40,060	△6.7	9,692	-	9,353	142.8	7,818	-	7,795	-	円 銭
	～	～	～	～	～	～	～	～	～	～	17.99
	42,865	△0.2	11,831	-	11,491	198.3	9,593	-	9,527	-	21.99

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
(I F R S により要求される会計方針の変更)

当社グループが本要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、特段の記載がない限り、以下の新たに適用する基準を除いて、前期の連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。なお、当第3四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積平均年次実効税率を基に算定しております。

当社グループは、第1四半期連結会計期間（2015年1月1日から2015年3月31日まで）より以下の基準を適用しております。これらについては、当第3四半期連結累計期間において重要な影響はありません。

基準書	基準書名	新設・改訂の概要
IFRS第2号	株式に基づく報酬	権利確定条件の定義を改訂
IFRS第3号	企業結合	企業結合における条件付対価の会計処理の改訂 IFRS第3号の適用範囲から除外される共同支配の取決めの範囲を明確化
IFRS第8号	事業セグメント	複数の事業セグメントを集約して報告セグメントを決定している場合の開示を追加 また、報告セグメントの資産に関する規定を明確化
IFRS第13号	公正価値測定	ポートフォリオの公正価値測定に関する例外規定の適用範囲を明確化
IAS第16号	有形固定資産	再評価モデルの会計処理を改訂
IAS第19号	従業員給付	確定給付制度の規約で要求される従業員又は第三者による拠出の会計処理の明確化
IAS第24号	関連当事者についての開示	経営幹部としてのサービスを提供する企業が、報告企業の関連当事者に該当することを明確化
IAS第38号	無形資産	再評価モデルの会計処理を改訂
IAS第40号	投資不動産	不動産の取得に関する、IAS第40号とIFRS第3号の適用の関係の明確化

3. 要約四半期連結財務諸表

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2014年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2015年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	117,729	128,236
営業債権及びその他の債権	32,280	31,776
その他の預金	100,235	100,643
その他の金融資産	3,029	1,759
その他の流動資産	4,852	6,576
流動資産合計	258,125	268,990
非流動資産		
有形固定資産	24,039	21,390
のれん	35,426	35,800
無形資産	16,574	8,984
持分法で会計処理している投資	1,845	1,988
その他の金融資産	93,779	87,387
その他の非流動資産	2,518	3,174
繰延税金資産	4,716	4,528
非流動資産合計	178,897	163,251
資産合計	437,022	432,241

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2014年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2015年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
仕入債務及びその他の債務	10,214	8,970
繰延収益	10,718	9,703
借入金	13,180	14,099
未払法人所得税	12,836	4,234
その他の金融負債	1,268	238
引当金	2,323	1,379
その他の流動負債	6,484	4,804
流動負債合計	57,023	43,427
非流動負債		
繰延収益	2,440	1,646
借入金	23,244	14,099
その他の金融負債	1,820	2,064
引当金	291	319
その他の非流動負債	1,359	1,310
繰延税金負債	5,368	3,108
非流動負債合計	34,522	22,546
負債合計	91,545	65,973
資本		
資本金	52,481	55,731
資本剰余金	40,830	33,892
その他の資本の構成要素	92,044	70,135
利益剰余金	155,025	201,407
親会社の所有者に帰属する持分合計	340,380	361,165
非支配持分	5,097	5,103
資本合計	345,477	366,268
負債及び資本合計	437,022	432,241

(2) 要約四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2014年1月1日 至 2014年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2015年1月1日 至 2015年9月30日)
売上収益	129,998	144,447
売上原価	△32,819	△36,246
売上総利益	97,179	108,201
販売費及び一般管理費	△49,044	△54,630
その他の収益	597	315
その他の費用	△2,475	△1,911
営業利益	46,257	51,975
金融収益	3,694	9,184
金融費用	△934	△448
持分法による投資利益 (△は損失)	△198	26
税引前四半期利益	48,819	60,737
法人所得税費用	△14,667	△9,526
四半期利益	34,152	51,211
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	33,814	50,733
非支配持分	338	478
四半期利益	34,152	51,211
1株当たり四半期利益 (親会社の所有者に帰属)		
基本的1株当たり四半期利益	77.55円	117.87円
希薄化後1株当たり四半期利益	76.35円	114.95円

【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2014年7月1日 至 2014年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2015年7月1日 至 2015年9月30日)
売上収益	45,613	49,811
売上原価	△12,731	△12,552
売上総利益	32,882	37,259
販売費及び一般管理費	△17,401	△18,269
その他の収益	180	101
その他の費用	△537	△655
営業利益	15,124	18,436
金融収益	5,122	4,277
金融費用	△360	△234
持分法による投資利益 (△は損失)	△93	11
税引前四半期利益	19,793	22,490
法人所得税費用	△6,132	△3,239
四半期利益	13,661	19,251
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	13,585	19,184
非支配持分	76	67
四半期利益	13,661	19,251
1株当たり四半期利益 (親会社の所有者に帰属)		
基本的1株当たり四半期利益	31.49円	44.47円
希薄化後1株当たり四半期利益	31.00円	43.41円

（3）要約四半期連結包括利益計算書

【第3四半期連結累計期間】

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2014年1月1日 至 2014年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2015年1月1日 至 2015年9月30日）
四半期利益	34,152	51,211
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する金融資産	△34,857	△440
確定給付型年金制度の再測定額	△1	4
法人所得税	13,361	239
純損益に振替えられることのない項目合計	△21,497	△197
純損益にその後に振替えられる可能性のある 項目		
在外営業活動体の換算差額	8,452	△22,332
キャッシュ・フロー・ヘッジ	46	15
持分法によるその他の包括利益	△2	△1
法人所得税	△19	△7
純損益にその後に振替えられる可能性のある 項目合計	8,477	△22,325
その他の包括利益合計	△13,020	△22,522
四半期包括利益	21,132	28,689
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	20,607	28,683
非支配持分	525	6
四半期包括利益	21,132	28,689

【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2014年7月1日 至 2014年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2015年7月1日 至 2015年9月30日)
四半期利益	13,661	19,251
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する金融資産	△13,837	△10,634
確定給付型年金制度の再測定額	△1	4
法人所得税	5,187	3,040
純損益に振替えられることのない項目合計	△8,651	△7,590
純損益にその後に振替えられる可能性のある 項目		
在外営業活動体の換算差額	7,924	△21,789
キャッシュ・フロー・ヘッジ	16	2
持分法によるその他の包括利益	△2	△0
法人所得税	△6	△1
純損益にその後に振替えられる可能性のある 項目合計	7,932	△21,788
その他の包括利益合計	△719	△29,378
四半期包括利益	12,942	△10,127
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	12,705	△9,744
非支配持分	237	△383
四半期包括利益	12,942	△10,127

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間 (自 2014年1月1日 至 2014年9月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配 持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	自己株式	その他の 資本の構 成要素	利益 剰余金	合計		
資本 (期首)	51,952	50,688	△0	74,468	131,374	308,482	4,577	313,059
四半期利益	-	-	-	-	33,814	33,814	338	34,152
その他の包括利益	-	-	-	△13,207	-	△13,207	187	△13,020
四半期包括利益合計	-	-	-	△13,207	33,814	20,607	525	21,132
新株の発行	274	274	-	-	-	548	-	548
新株発行費用	-	△2	-	-	-	△2	-	△2
配当金	-	-	-	-	△4,373	△4,373	-	△4,373
株式に基づく報酬取引	-	-	-	3,502	-	3,502	-	3,502
非支配持分の取得及び処分	-	△341	-	-	-	△341	△37	△378
自己株式の取得	-	△43	△10,000	-	-	△10,043	-	△10,043
自己株式の消却	-	△10,000	10,000	-	-	-	-	-
その他の増減額	-	-	-	-	△0	△0	-	△0
所有者との取引額合計	274	△10,112	-	3,502	△4,373	△10,709	△37	△10,746
資本 (期末)	52,226	40,576	-	64,763	160,815	318,380	5,065	323,445

当第3四半期連結累計期間 (自 2015年1月1日 至 2015年9月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配 持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	自己株式	その他の 資本の構 成要素	利益 剰余金	合計		
資本 (期首)	52,481	40,830	-	92,044	155,025	340,380	5,097	345,477
四半期利益	-	-	-	-	50,733	50,733	478	51,211
その他の包括利益	-	-	-	△22,050	-	△22,050	△472	△22,522
四半期包括利益合計	-	-	-	△22,050	50,733	28,683	6	28,689
新株の発行	3,250	3,250	-	-	-	6,500	-	6,500
新株発行費用	-	△22	-	-	-	△22	-	△22
配当金	-	-	-	-	△4,305	△4,305	-	△4,305
株式に基づく報酬取引	-	-	-	95	-	95	-	95
自己株式の取得	-	△169	△10,000	-	-	△10,169	-	△10,169
自己株式の消却	-	△10,000	10,000	-	-	-	-	-
その他の資本の構成要素か ら利益剰余金への振替	-	-	-	46	△46	-	-	-
その他の増減額	-	3	-	-	-	3	-	3
所有者との取引額合計	3,250	△6,938	-	141	△4,351	△7,898	-	△7,898
資本 (期末)	55,731	33,892	-	70,135	201,407	361,165	5,103	366,268

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2014年1月1日 至 2014年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2015年1月1日 至 2015年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	48,819	60,737
減価償却費	11,600	11,199
株式報酬費用	3,704	1,576
受取利息及び受取配当金	△2,662	△4,119
支払利息	386	278
減損損失	2,230	1,677
持分法による投資損益 (△は益)	198	△26
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△6,487	△2,376
仕入債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	1,210	△662
繰延収益の増減額 (△は減少)	△1,111	△952
その他	3,042	△5,092
小計	60,929	62,240
利息及び配当金の受取額	2,376	4,441
利息の支払額	△539	△406
法人所得税の支払額	△20,836	△21,259
営業活動によるキャッシュ・フロー	41,930	45,016
投資活動によるキャッシュ・フロー		
その他の預金の増減額 (△は増加)	△41,959	△8,649
有形固定資産の取得による支出	△2,991	△2,209
有形固定資産の売却による収入	450	49
無形資産の取得による支出	△2,059	△2,030
長期前払費用の増加を伴う支出	△1,331	△987
有価証券の取得による支出	△1,563	△907
有価証券の売却による収入	4,702	2,500
関連会社取得による支出	-	△78
関連会社売却による収入	79	-
子会社の取得による支出	-	△2,155
その他	1,296	1,208
投資活動によるキャッシュ・フロー	△43,376	△13,258
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	500
長期借入れによる収入	-	5,000
長期借入金の返済による支出	△11,153	△11,990
ストック・オプションの行使による収入	349	4,999
自己株式の取得による支出	△10,043	△10,169
配当金の支払額	△4,373	△4,305
その他	△927	△298
財務活動によるキャッシュ・フロー	△26,147	△16,263
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△27,593	15,495
現金及び現金同等物の期首残高	138,843	117,729
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	2,905	△4,988
現金及び現金同等物の四半期末残高	114,155	128,236

（6）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（7）親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（8）セグメント情報

① 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、PCオンラインゲーム及びモバイルゲームの制作・開発、配信を行っており、取り扱う商品・サービスについて国内においては当社及び国内連結子会社、海外においては現地連結子会社が、それぞれ独立した経営単位として各地域における包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。したがって、当社グループは、PCオンラインゲーム及びモバイルゲームの制作・開発・配信を基礎とした各社の所在地別のセグメントから構成されております。報告セグメントは「日本」、「韓国」、「中国」、「北米」及び「その他」の5つとしており、「その他」の区分には欧州及びアジア諸国が含まれております。

② 報告セグメントの収益及び損益

当社グループのセグメント情報は次のとおりであります。

(第3四半期連結累計期間)

前第3四半期連結累計期間 (自 2014年1月1日 至 2014年9月30日)

	報告セグメント					計	調整額 (注3)	連結
	日本	韓国	中国	北米	その他			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益								
外部収益	23,012	97,955	3,517	3,850	1,664	129,998	-	129,998
セグメント間収益	11	2,643	-	6	8	2,668	△2,668	-
計	23,023	100,598	3,517	3,856	1,672	132,666	△2,668	129,998
セグメント利益又は損失 (注1)	△352	48,142	2,244	△1,486	△414	48,134	1	48,135
その他の収益・費用 (純額)								△1,878
営業利益								46,257
金融収益・費用 (純額)								2,760
持分法による投資損失								△198
税引前四半期利益								48,819

(注) 1. セグメント利益又は損失は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。

2. セグメント間の内部取引価格は、一般的な市場価格に基づいております。

3. セグメント利益又は損失の調整額1百万円は、セグメント間取引消去であります。

当第3四半期連結累計期間 (自 2015年1月1日 至 2015年9月30日)

	報告セグメント					計	調整額 (注3)	連結
	日本	韓国	中国	北米	その他			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益								
外部収益	16,235	115,608	2,804	8,479	1,321	144,447	-	144,447
セグメント間収益	59	2,452	-	347	109	2,967	△2,967	-
計	16,294	118,060	2,804	8,826	1,430	147,414	△2,967	144,447
セグメント利益又は損失 (注1)	△1,395	56,847	1,395	△2,967	△318	53,562	9	53,571
その他の収益・費用 (純額)								△1,596
営業利益								51,975
金融収益・費用 (純額)								8,736
持分法による投資利益								26
税引前四半期利益								60,737

(注) 1. セグメント利益又は損失は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。

2. セグメント間の内部取引価格は、一般的な市場価格に基づいております。

3. セグメント利益又は損失の調整額9百万円は、セグメント間取引消去であります。

(第3四半期連結会計期間)

前第3四半期連結会計期間 (自 2014年7月1日 至 2014年9月30日)

	報告セグメント					計	調整額 (注3)	連結
	日本	韓国	中国	北米	その他			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益								
外部収益	7,237	35,361	1,035	1,461	519	45,613	-	45,613
セグメント間収益	3	897	-	1	-	901	△901	-
計	7,240	36,258	1,035	1,462	519	46,514	△901	45,613
セグメント利益又は損失 (注1)	△15	15,542	620	△476	△191	15,480	1	15,481
その他の収益・費用 (純額)								△357
営業利益								15,124
金融収益・費用 (純額)								4,762
持分法による投資損失								△93
税引前四半期利益								19,793

- (注) 1. セグメント利益又は損失は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。
 2. セグメント間の内部取引価格は、一般的な市場価格に基づいております。
 3. セグメント利益又は損失の調整額1百万円は、セグメント間取引消去であります。

当第3四半期連結会計期間 (自 2015年7月1日 至 2015年9月30日)

	報告セグメント					計	調整額 (注3)	連結
	日本	韓国	中国	北米	その他			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益								
外部収益	4,913	40,437	1,276	2,747	438	49,811	-	49,811
セグメント間収益	34	796	-	338	43	1,211	△1,211	-
計	4,947	41,233	1,276	3,085	481	51,022	△1,211	49,811
セグメント利益又は損失 (注1)	△532	19,645	808	△805	△142	18,974	16	18,990
その他の収益・費用 (純額)								△554
営業利益								18,436
金融収益・費用 (純額)								4,043
持分法による投資利益								11
税引前四半期利益								22,490

- (注) 1. セグメント利益又は損失は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。
 2. セグメント間の内部取引価格は、一般的な市場価格に基づいております。
 3. セグメント利益又は損失の調整額16百万円は、セグメント間取引消去であります。

③ 地域ごとの情報

外部顧客からの売上収益は、次のとおりであります。

(第3四半期連結累計期間)

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
	(自 2014年1月1日 至 2014年9月30日)	(自 2015年1月1日 至 2015年9月30日)
	百万円	百万円
日本	23,009	16,285
韓国	48,660	56,878
中国	50,517	58,938
北米	3,896	6,554
その他	3,916	5,792
合計	129,998	144,447

(注) 1. 売上収益は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

3. 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米：米国及びカナダ

(2) その他：欧州、中南米及びアジア諸国

(第3四半期連結会計期間)

	前第3四半期連結会計期間	当第3四半期連結会計期間
	(自 2014年7月1日 至 2014年9月30日)	(自 2015年7月1日 至 2015年9月30日)
	百万円	百万円
日本	7,232	4,972
韓国	19,976	20,163
中国	15,685	20,247
北米	1,420	2,045
その他	1,300	2,384
合計	45,613	49,811

(注) 1. 売上収益は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

3. 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米：米国及びカナダ

(2) その他：欧州、中南米及びアジア諸国

④ 事業別の売上収益

事業別の売上収益は、次のとおりであります。

(第3四半期連結累計期間)

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
	(自 2014年1月1日 至 2014年9月30日)	(自 2015年1月1日 至 2015年9月30日)
	百万円	百万円
PCオンライン	103,533	114,483
モバイル	25,312	28,853
その他	1,153	1,111
合計	129,998	144,447

(第3四半期連結会計期間)

	前第3四半期連結会計期間	当第3四半期連結会計期間
	(自 2014年7月1日 至 2014年9月30日)	(自 2015年7月1日 至 2015年9月30日)
	百万円	百万円
PCオンライン	35,523	39,159
モバイル	9,682	10,330
その他	408	322
合計	45,613	49,811

(9) 後発事象

(エヌシーソフト・コーポレーション株式の売却)

① 概要

当社が、2012年6月にエヌシーソフト・コーポレーションの株式に投資してから3年の期間が経過しましたが、十分な事業上のシナジー効果は創出していないため、保有する当該株式をすべて売却しました。

② 売却資産の種類、売却株数、売却方法、売却価額

(i) 売却する株式の種類：エヌシーソフト・コーポレーション普通株式

(ii) 売却する株式の数：3,306,897株(発行済株式数の15.08%)

当社保有分は3,218,091株(取得価額54,547百万円)、当社子会社であるネクソン・코리아・コーポレーション保有分は88,806株(取得価額1,167百万円相当(2015年9月30日の為替レートで換算))です。また、当株式は当第3四半期連結会計期間の要約四半期連結財政状態計算書において、その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産として、その他の金融資産(非流動資産)に計上されています。

(iii) 売却方法：ブックビルディング方式による需要を踏まえ、韓国証券取引所における時間外取引による機関投資家への売却

(iv) 売却価額：1株あたり183,000韓国ウォン(19,361円相当)、総額605,162百万韓国ウォン(64,026百万円相当)

上記円貨額は、2015年10月16日の為替レートを適用して算出しています。

③ 売却の時期

(i) 売却約定日：2015年10月16日

(ii) 株式受渡日：2015年10月20日

④ 資金の使途

売却資金の一部は、当社の借入金(2015年9月30日残高13,600百万円及び80百万米ドル)の返済に充当されます。